

こころ育てる絵本との出会い

マウ'ちゃん通信

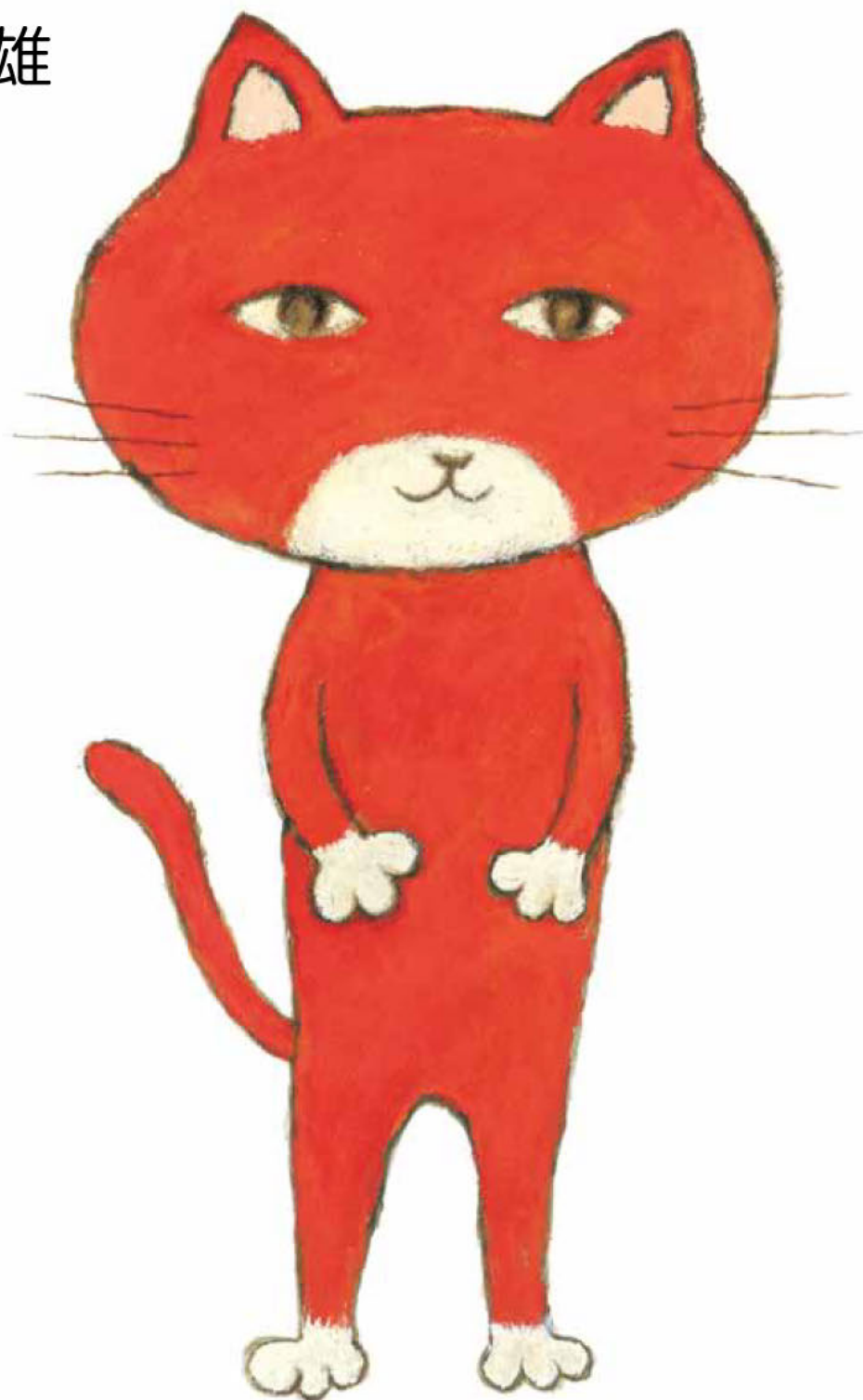
2015 6 - 7 vol. 32

絵本原画展

西村敏雄

特集

絵本の里
けんぶち



にし むら とし お
西村 敏雄



西村 敏雄 (にしむら としお) プロフィール

1964年 愛知県生まれ、東京造形大学デザイン科卒業。
インテリアとテキスタイルのデザイナーとして活動後、絵本の創作を始める。
主な作品に『バルバルさん』『どうぶつサーカスはじまるよ』(福音館書店)、
『どろぼう だっそう だいさくせん!』(偕成社)、『うんこ!』(文溪堂)、
『ライオンのすてきないえ』(学研)、『アリのおでかけ』(白泉社)、
『アントンせんせい』(講談社)、『くまくまパン』(あかね書房)、
『ちびうそくん』(PHP研究所)、『どん!』(金の星社) などがある。
第3回MOE絵本屋さん大賞、第1回リプロ絵本大賞受賞。

絵本をつくるときのこだわりは
「絵は見やすく」「文は読みやすく」
愛とユーモアたっぷりの
ほのぼのワールドをどうぞー!

絵本原画展開催

平成27年5月30日(土)～7月23日(木)



『わたしはあかねこ』
(サトシン／文 文溪堂)
しろねこかあさんとくろねここと
うさんからうまれたのに、なぜか
1匹だけ真っ赤なあかねこちゃ
ん。みんなは同情するけど私は
この色が大好き!そんなあかね
こちゃんがらった行動は……。



原画展示絵本

初夏のギャラリーでは、かわいいねこの家族のお話「わたしはあかねこ」、ユーモアあふれる「うんこ!」の2冊をご紹介します。

西村 敏雄先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは?

妻が息子に絵本を読んでいるのを横で見
て絵本に興味を持ちました。海外の絵本
などいろいろ読んでいくうちに表現の幅広
さに感心し、自分でつくってみようと思いま
した。できた絵本を出版社に持ち込み採用
になりました。

画材は何を使っていらしゃいますか?

イラストボードにアクリルガッシュとリキテッ
クスで描いています。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話
や思い出を教えてください。

「わたしはあかねこ」

あかねこのキャラクターを決めるのにたくさ
ん猫を描きました。少しずつ顔の印象やプ
ロポーションの違う猫の絵をずらっと並べ
て、話の内容に合うように「もう少し意志
の強い目の方がいいかな」とか「もっと寂しげ
な顔がいいかな」など修正を加えながらイ
メージがびつたりくるまで描き直しました。

「うんこ!」

うんこが主人公ですから、あまり不潔な感
じにならないようにチャームングなうんこに

なるよう心がけて絵を描きました。最初し
ばらく同じ場所の絵が続くので単調になら
ないように動物の表情など変化を持たせて
描きました。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象
深い絵本は?

「もりのおふろ」(福音館書店)です。デビュー
作の「バルバルさん」(乾栄里子/作 福音館
書店)も印象深いですが、2作目の「もりのお
ふろ」は初めて自分で文も書いたもので、動
物の絵を描くのに何力所か動物園に行つて
じっくり観察して描きました。



『もりのおふろ』
(福音館書店)

絵本をお作りになるときのこだわりは?

僕が絵本をつくるときのこだわりは2つあり
ます。「絵は見やすく」と「文は読みやすく」
です。絵本は「ミニミニ」の道具ですか
ら読んでくださる方に伝わりやすいよう、絵
の構成と文章のリズムに気をつけます。

絵本を通じてお伝えになりたいことは?

とにかく楽しんでいただけるといいなと思っ
て絵本をつくっています。絵本を読んで、ク
スツとしたり、ニヤリとしたり、グツときたり
していただければ嬉しいですね。

今後どのような絵本を描いていかれますか?
長く愛される絵本をつくりたいいつも思っ
ています。

ご趣味についてお聞かせください。

音楽と映画。仕事をしながら音楽を聴いて
います。仕事が終わったら映画を観ます。

好きな言葉を教えてください。

「愛とユーモア」です。ちよとした愛情と
ユーモアがあれば、いろいろ乗り越えて行け
そうな気がします。

ファンの方へメッセージをお願いします。

世の中も家庭も平和でなければ絵本を
つくったり、読んだりして楽しめません。
日々、平和に暮らしたいですね!

西村 敏雄先生、ありがとうございました!

うんこ!



「うんこ!」
(文溪堂)

西村 敏雄先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年令、住所、電話番号をご明記のうえ、
ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
西村 敏雄 サイン本プレゼント係
締め切り 平成27年7月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。

「うんこ!」
(サトシノ/文 文溪堂)
わんこのうんこが、すーとーん、べっ
ちやつ。「くっさーい!」とみんな
がうんこからにげていきます。
「くっさー!」うんこはなまを
さがす旅に出かけます。そんな
うんこがたどりついた先は…。





江畑 明子
元 射水市大島絵本館 主任指導員

特集 / 里本の絵本けんぶち

映画「じんじん」のふるさと、けんぶちを訪ねて

私は、平成12年4月から2年間、大島絵本館に勤務しました。そのとき、大島のよう子、子どもたちのために絵本による町おこしをしている「剣淵（けんぶち）」という町が北海道にあることを知り、興味をもちました。

昨年10月、その「絵本の里剣淵」を舞台にした映画「じんじん」の実行委員となり、地元高岡で上映し、たくさんの方々に見てもらったことができました。親子の情愛や絆、子供に伝えたいこと、絵本がもっている人の心をつなぐ力などに気づかせてくれる素晴らしい映画でした。私の剣淵への憧れはさらにふくらんでいきました。

*

そして、今年2月。私はついに「絵本の里剣淵」に行くことができたのです。

14日、15日は「けんぶち絵本まつり」。町の中や絵本の館の前には、大賞を受賞した『パンダ銭湯』のパンダ親子の大きな雪像がお出迎え。

絵本館に入った瞬間、ふわっと幸せな気分になりました。迎えてくださった町の人たちの温かい言葉と笑顔、カフェからのいい匂い、親子の笑い声やままこと遊びの音……開放的な空間、絵本の図書館らしい低い書棚、かわいい展示の「えほんのへや」。落ち着いた読書室や体験教室。ドーム型の「たまごのへや」には、10万個の木の玉が入った「木の砂場」。

広々とした展示室では、受賞作品の原画展が開催されていて、5つもの作品原画を間近でじっくり見ることができました。

「やっぱり原画はすごい！」と嬉しくなりました。

授賞式とレセプションにも参加させていただきました。絵本の里大賞の副賞は『剣淵の野菜』。いかにも野菜の町剣淵らしく、拍手喝采でした。各テーブルには、おもてなしメニューのユニークな紹介やかわいいアルパカの折り紙が飾られていて、町民みんなの力で絵本まつりを盛り上げておられることがよく分かりました。

翌日には、剣淵小学校の各教室で、受賞作家さんによる特別授業が行われ、子どもたちは目を輝かせ、絵本の世界に浸っていました。この授業は、絵本まつりが始まって以来、毎年続けられているそうです。作家さん自身が、直接子どもたちに思いを伝える授業はなかなかありません。授業を通して子どもたちの心は豊かに育っていくでしょう。

*

私にとって長年の憧れだった絵本の里剣淵の旅が実現しました。町の方々という話すなかで、ふるさとを愛する心、未来を担う子どもたちを大切に思う心、絵本への熱い思いにふれることができました。絵本の里を創り、絵本の力を信じて読み聞かせをした親たちの意志が次の世代、また次の世代へと引き継がれ、町民みんなで今の絵本の町を支えていることに強く感動しました。

剣淵は素晴らしい町です。みなさんも是非「もう一つの絵本の里剣淵」を訪ねてみてください。

私のおすすめ絵本

『おかあさんだいすきだよ』

みやにし たつや／作
金の星社

子どもはお母さんが大好きです。ついついおこりんぼうになってしまうママに読んでもらいたい一冊です。



『きみがおしえてくれた。』

今西乃子／文
加納果林／絵
新日本出版社

戦争中、実際にあった犬と飼い主の物語。悲しみを秘めた小犬の目が訴えかけてきます。



『パンダ銭湯』

tupera tupera／作
絵本館

今明かされるパンダの秘密とは！パンダ親子の姿や会話を驚いたり、大笑いしたり。



『クロコダイルとイルカ』

ドリアン助川／文
あべ弘士／絵
「じんじん」製作委員会

イルカのアヤカと出会った乱暴者のクロコダイルは……映画「じんじん」から生まれた絵本。



『おっぱいちゃん』

有田奈央／作
ポプラ社

おねえちゃんになったおねえちゃん。いますぐママみたいなおっぱいになりたいとがんばります。



『ぼくは海になった』

うさ／作
くもん出版

東日本大震災で本当にあった悲しいお話です。命に優劣はなく、人も動物も大切な命。

